

# WORKER

仕事人

それぞれの世界で懸命に働く姿を追う。



でこぼこした場所でも難なくパワーショベルを操る。

## 土木

浜中建設 専務取締役

浜中和志さん(28・阿南市出身)

「土木は地図に残る、地図を変える仕事」  
職人と現場監督を両立させながら汗を流す

好きだったモノ作りを究めたいと、大工を目指して大阪の専門学校で2年間学んだ。卒業後は大阪で2年ほど大工として現場で働き、徳島へ帰郷。父の孝さんが代表を務める浜中建設に22歳で入社した。「いつかは家業を継ぐことを考えていたので、それなら早いうちに帰ろうと。僕が帰ってきて嬉しかったと父親が言っていたのを、周りから聞きました」と照れくさそうに笑う。

浜中建設は土木工事が中心。前職の大工仕事とは全く異なるため、

一から学び直した。「土木は、道路の新設や修繕、建築物の基礎造りなどいろんなことをやります。入社してすぐの頃は、現場で流れを学びながら必要な資格を取って…と大変でした」。さらには、現場監督として取りまとめる役目も担う。規模の大きさによっては、父とともに指揮を執っている。一番のやりがいは、「工事が完成したときですね。規模の大小関係なく、言葉にできないくらい達成感があります。土木は地図に残る、地図を変えるすごい仕事ですよ。地域の

方からありがとうと言われるのも嬉しいですよ」。

常に前向きに将来を見据える姿が印象的な浜中さん。「土木は、これからますます忙しくなると思います。バブルの時代に造られた道、家やビル

などはそろそろ50年が経つので、老朽化や耐震面で造り替え・建て替えるようになります。近年、全国各地で発生している水害や土砂災害、徳島にも来るだろうと言われている大地震や津波が起きたとすれば、街の

復旧作業も僕たちの仕事です。そうなったときにたくさんの人材が必要になります。この業界は若い人が少ないのが問題。うちには19歳、25歳、26歳の社員がいるんですが、会社の宝ですね。大切に育てていきま

す。そして、僕が若手を引っ張っていきける存在になりたいです」。

>> 浜中建設

本社/阿南市津乃峰町新浜59  
0884-27-0554

昨年、国家資格である一級土木施工管理技士に合格。「会社を継ぐにあたって、親方が一級を持ってないとダメやろと思ったんです」と笑みをこぼす。

